授業科目　神経内科学Ⅱ

【担当教員名】	対象学年	2	対象学科	作業
今村　徹	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【<概要>】
『神経内科学Ⅰ』では，前期で学んだ神経科学の考え方をもとに神経疾患の学習を進める．臨床現場では，神経科学の知識に基く論理的な病態理解とともに，患者の臨床像を症候群的に把握する能力も重要である．後者の学習のために，症候学や診察検査法と疾患各論をできるだけ関連させて授業を進める．

【<学習目標>】
代表的な神経疾患について，神経科学の知識に基く論理的な病態理解と，臨床像の症候群的理解の両者を身に付けることが目的である．

回数	授業計画又は学習の主題		学習方法・学習課題又は備考
		以下の主題について計14回の授業を行う予定である． 具体的な日程は改めて通知する． 臨床症候群という考え方 筋疾患 神経筋接合部疾患 末梢神経疾患 神経根疾患と脊髄疾患 脳幹疾患 小脳疾患 大脳基底核疾患 痴呆と高次機能障害 脳血管障害 頭部外傷 神経系統疾患（運動ニューロン疾患，脱髄疾患など）	担当教員：今村　徹

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	簡要神経学	岩田誠，岩田淳訳	MEDSI	2000年．3800円．ISBN：4-89592-249-9
参考書				
その他の資料	適宜配布する			

【評価方法】
定期試験による．

【履修上の留意点】
言語聴覚学科『臨床神経学』，理学療法学科『臨床神経学』（後期分）と同一の授業内容である．